

佐賀市

不登校や発達障害がある生徒の受け皿となる高等専修学校「佐賀星生（ほっしょう）学園」が14日、佐賀市多布施に開校した。1期生は16～22歳の41人。同じ悩みを抱える仲間と新たなスタートを切った。

入学式では、加藤雅世子校長が「個性を大切に意欲や能力を引き出し、一つ一つ目標に近づけたい」とあいさつ。小学2年から中学卒

H23
4/15
佐賀
新聞

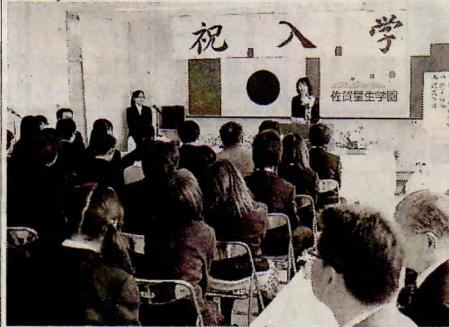
佐賀星生学園が開校

悩み抱える仲間と新たに

業まで不登校だった女子生徒(16)は「先が見えない不安で親に心配をかけたが、自分で入学を決め、誇りに思っている。仲間と新しい学校生活を送りたい」と目を輝かせた。

いじめに遭ったり、高校を中退した生徒もおり、教育支援だけでなく精神保健福祉士や養護学校で教諭経験があるスタッフが生活支援を行う。保護者の一人は「ここで自信を取り戻してほしい」と話した。

(田中浩司)



開校式を兼ねた入学式で加藤雅世子校長のあいさつに耳を傾ける1期生
—佐賀市多布施の佐賀星生学園